
目次

- ・ 2014 年度（平成 26 年度）中部支部総会の報告
 - ・ 第 19 回公開気象講座の報告
 - ・ 平成 26 年度中部支部研究会のお知らせとプログラム
-

◆ 2014 年度（平成 26 年度）中部支部総会の報告

2014 年度日本気象学会中部支部総会が 7 月 4 日（金）、15 時 45 分から名古屋地方気象台会議室において開催されました。開会の辞、内田裕之支部長の挨拶のあと、名古屋地方気象台の榎本会員を議長に選出し、議事進行をお願いしました。事務局から出席者数と委任状の提出数の報告があり、総会成立条件を満たしていることが確認されました。

その後、支部だより第 77 号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

(1) 2013 年度（平成 25 年度）事業報告

事務局から、支部だより（第 75 号、第 76 号）発行、第 18 回公開気象講座、支部研究会、サイエンスカフェの開催について報告があり承認されました。

(2) 2013 年度（平成 25 年度）中部支部会計報告

事務局から 2013 年度の会計報告があり、承認されました。

(3) 2013 年度（平成 25 年度）中部支部会計監査報告

多々良会計監査から 2013 年度の支部会計が適正に処理されている旨の報告があり、承認されました。

(4) 2014 年度（平成 26 年度）中部支部事業計画案

事務局から下記の事業計画案が提案され、賛成多数により承認されました。

- ・ 支部だより（第 77 号、第 78 号）の発行
- ・ 第 19 回公開気象講座「異常気象、実は海が決めていた！」の開催（8 月 30 日、名古屋大学 ES 総合館 ES ホール）
- ・ 平成 26 年度中部支部研究会の開催（11 月 27 日～28 日、名古屋地方気象台）
- ・ サイエンスカフェの開催（名古屋：9 月頃と 2015 年 1 月の計 2 回、北陸、長野、静岡地区で計 2 回の開催を予定）

(5) 2014 年度（平成 26 年度）中部支部予算案

事務局から今年度の事業計画に基づいた予算案の提案があり、賛成多数により承認されました。

◆ 第 19 回公開気象講座の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で 19 回目を数えます。今回は、「異常気象、実は海が決めていた！」というテーマで 8 月 30 日（土）に名古屋大学 ES 総合館 ES ホールにおいて開催されました。内田裕之支部長の挨拶の後、新潟大学の本田明治氏により「北極海の海洋・海氷変化と日本の気象への影響」というタイトルで、北極海の海氷変化による日本の気象への影響について分かりやすく説明していただきました。次いで、気象庁の前田修平氏により「エルニーニョ／ラニーニャ現象とその影響」というタイトルで、熱帯太平洋の海の状態が日本の気象に及ぼす影響を分かりやすく説明していただきました。休憩をはさんで最後に、三重大学の立花義裕氏に「日本周辺の海が異常気象に及ぼす影響」というタイトルで、日本周辺を流れる暖流や寒流が日本の気象に及ぼす影響について分かりやすく説明していただきました。参加者は 79 名を数え、各講演には多くの質問があり、日本の異常気象に対する関心の高さを感じました。

◆ 支部ホームページのサーバー移行について

12 月から支部のホームページのサーバーが日本気象学会の本部のサーバーに移行される予定です。それに伴いまして支部ホームページの URL も変更される予定です。詳細が決まりましたら、支部ホームページに掲載します。

◆ 平成 26 年度日本気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中部支部研究会は、11 月 27 日（木）～28 日（金）の 2 日間にわたり、名古屋市の名古屋地方気象台において開催する予定です。以下のプログラムに示す 19 件の講演が予定されています。会員の皆様には、同封した講演要旨集に詳細が記載されていますが、この支部だよりも研究会のプログラムを以下に記載しました。ご興味のある方は是非、会場にお越しください。

日時： 2014 年 11 月 27 日（木曜日）13:30～17:50（終了後、ロッパにて懇親会）

11 月 28 日（金曜日）09:30～12:15

場所：名古屋地方気象台会議室（名古屋市千種区日和町 2-18）

※講演 1 件あたりの割当て時間は 20 分を予定しております。各講演者の方は講演時間 15 分、質疑時間 5 分を目安とした講演をお願いいたします。

※懇親会に参加を希望される方のうち、未だ連絡を頂いていない方は、11 月 20 日（木）までに幹事にお知らせ下さい。（懇親会費用は一般 4000 円、学生 2000 円です。）

※地下鉄東山線本山駅からの案内図をプログラムの最後に掲示しましたのでご覧ください。

支部研究会プログラム

11月27日(木)

講演番号	時間帯	講演者	タイトル	所属	共著者
	13:30-13:32	事務局	開会の辞		
	13:32-13:35	内田裕之	支部長挨拶		
No.1	13:35-13:55	中田晃志	2つの台風による連鎖する遠隔強制	三重大学 生物資源学部	立花義裕、小松謙介、原政之、山崎孝治、小寺邦彦
No.2	13:55-14:15	堀口桃子	2011年台風6号がUターンした理由とは	三重大学 生物資源学部	立花義裕、小寺邦彦、山崎孝治
No.3	14:15-14:35	田嶋莉奈	風成駆動流理論に基づく北太平洋亜熱帯循環系の海洋構造特性	東海大学大学院海洋	轡田邦夫
No.4	14:35-14:55	内野宏紀	地上気象連続観測データを用いた静岡県中部における気象変動の解析	東海大学海洋学部	池谷亜利沙、川島卓也、轡田邦夫
			休憩		
No.5	15:10-15:30	草刈智一	GCMデータを用いた年降水量の非定常頻度分析-その一例として-	元信州大学大学院	寒川典昭、浜口俊雄、中屋眞司、山崎基弘
No.6	15:30-15:50	水野翔太	日本海沿岸域の初冬期における降水量の増加傾向について	富山大学理学部地球科学科	安永数明
No.7	15:50-16:10	大瀧莞司	東シナ海における梅雨前線周辺の降水特性の違い	富山大学理学部地球科学科	安永数明
No.8	16:10-16:30	柳瀬篤志	海洋大陸における日周期降水活動の季節変化	富山大学理学部	安永数明
			休憩		
No.9	16:45-17:05	八木 雅文	南大洋上における海上風変動の指標-DPOIおよびKDOIの有効性-	東海大学海洋学部	轡田邦夫、永延幹男、小林大地
No.10	17:05-17:25	田中隆一	エクマン層について		
No.11	17:25-17:45	末松 透	ポリウムスキャン可能なドップラーソーダーの開発中間報告	岐阜大学大学院工学研究科	玉川一郎
No.12	17:45-18:05	永尾一平	名古屋港で観測された夏季海陸風のホドグラフの鉛直分布	名古屋大学大学院環境学研究科	菊本雄紀、河合慶、甲斐憲次、柴田隆、長田和雄

11月28日(金)

講演番号	時間帯	講演者	タイトル	所属	共著者
No.13	09:30-09:50	花井嘉夫	移動観測による晴天日における長野県下の気圧分布広域測定	信州大学大学院教育学研究科	榊原保志
No.14	09:50-10:10	宮島高弘	北西太平洋域における台風と指向流の統計的関係性	富山大学理工学教育部	安永数明
No.15	10:10-10:30	西尾伊三男	赤道付近の対流活動が東海地方の天候に及ぼす影響	名古屋地方気象台	
No.16	10:30-10:50	坂本理沙	物理特性を考慮した赤道域における海上観測ブイの最適配置に関する研究	東海大学海洋学部	久保田雅久
			休憩		
No.17	11:05-11:25	松本直也	伊勢湾の水温が冬季季節風時の平野部の局所気象に影響を及ぼす?	三重大学大学院生物資源学研究科	立花義裕、小松謙介、原政之
No.18	11:25-11:45	松尾奈緒子	降水安定同位体比から見た紀伊半島の降水システム	三重大学大学院生物資源学研究科	山田祐也、芳村圭、勝山正則、和田恵次、大野研、立花義裕
No.19	11:45-12:05	吉川契子	気象災害に関心を持たせる高校地学授業	静岡県立清水西高等学校	
	12:05-12:15	理事	講評		

支部研究会についてのお問合せ先
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院環境学研究科
永尾一平
i.nagao@nagoya-u.jp
電話:052-789-3483

会場への案内(名古屋地方気象台)



■名古屋市営地下鉄東山線・名城線の本山駅1番出口から北方向へ徒歩約10分.

■市バス池下11系統「春里町」下車 徒歩約5分.

坂の上の白いドームのある建物が名古屋地方気象台です.

出典：名古屋地方気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/nagoya/hp/asl/annai.html>